

若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)

## 『地域研究のためのフィールド活用型現地語教育』

### 平成 23 年度派遣報告書

—ケニア・ナイロビ大学、スワヒリ語、H23. 10. 11-H23. 12. 7—

平成 23 年度入学

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

博士課程 1 回生

八木智子

#### 自身のテーマについて

タンザニア北部では、料理用バナナは農村で消費される自給作物であると同時に、市場で取引される換金作物としての側面も持つ。バナナは収穫期を特定の時期に限らないことから、バナナ市場は年間を通して開いている。そのため現金が必要な時にいつでも販売でき、農家は生計を安定させることが可能となる。近年のコーヒー価格の乱高下を受け、タンザニア北部では多くの農家がコーヒー栽培から他の作物栽培への転換を図っており、バナナも重要な対象作物となっている。

上記のような経緯から、北部タンザニアでの料理用バナナの供給は増加傾向にあると考えられるが、これまで農産物の広域流通に関する研究、特にバナナに関する研究はタンザニアでは詳しくされてこなかった。

したがって本研究では、社会経済的側面に焦点をあて、自給作物と換金作物の二つの側面を持つ料理用バナナの生産・流通に関して検討したい。

バナナ栽培について投入財や労働投入などの経済的な側面から分析し、バナナから得られる収入が家計にどのようなインパクトをもたらすのか検討する。

そして、流通に関しては、収穫されたバナナを農家から買い取り、都市の卸売市場まで運搬しているバナナの仲買人の存在に注目する。彼らの行動を追うことにより、バナナが収穫から最終消費地までどのような経路で運ばれているのか、そこにはどのようなアクターが関与しているのかということ考察する。

#### 研修言語の概要

スワヒリ語はサハラ以南で最も広範囲にわたり話されているバンツー諸語のうちの一つであり、タンザニア、ケニア、ウガンダを中心に全体で 7 千万人を超える話者が存在する。スワヒリ語はアラビア語や英語からの借用語彙が非常に多く、postā (郵便) や wiki (週)、hospitali (病院) などは英語から借用されているし、kitabu (本)、safari (旅行) はアラビア語か

らの借用語彙である。

## 語学研修の内容について

スワヒリ語の語学研修は、ナイロビ市内にある語学学校（Anglican Church of Kenya: ACK）で行われた。語学学校ではスワヒリ語以外にも英語、スペイン語、フランス語、中国語、日本語などの様々なクラスが開講されており、韓国やスーダン、ソマリアなど各国から各人が学びたい言語を受講しに来ている。

私が入学した時は、スワヒリ語のグループ授業はすでにセメスターが開始されて時間が経っていたため、授業は個別形式を申し込んだ。授業は英語で説明されたので、英語に苦手意識を持っている私は、分からない部分や聞き取れなかった部分を何度も先生に聞き返し、十分に理解することができた点で、結果的に個別授業を申し込んでよかったと思った。

授業は月曜日から金曜日まで、毎日 3 時間受けた。最初は簡単なあいさつや数の数え方などを学習し、少しずつ現在形や過去形などの文法事項を体系的に学んだ。ACK のスワヒリ語の先生方は何人も生徒を持った実績があるので、生徒がつまずくポイントや疑問に感じるであろう点についてよく承知しており、難しい箇所は何度も詳しく説明してくれた。また、私の先生は文法を理解することよりも、実際にスワヒリ語を話せるようになることに指導の重点を置いており、授業中は問題集を解くだけではなく先生が英語で問いかけてくる文章をその場でスワヒリ語に翻訳するという実践的な練習を重ねた。そのような練習を続けることで学校以外の場でも、自分がしたいことをすぐにスワヒリ語で表現出来るようになったし、なにより短期間でたくさんの語彙を覚えることができた。

## 研修期間中に印象に残った体験や経験

授業を初めた当初、グループ授業の生徒が流暢にスワヒリ語をしゃべっているのを見て本当に私もあんな風に上手に話せるようになるのだろうかと不安を感じていた時期があった。

「最初から上手に話せる人はいないの。あの日本語の先生がいるでしょう。彼とあなたは仲がいいけれどたまにあなたが彼の日本語を正しく直してあげているのを見て、逆になぜあなたは彼にスワヒリ語で話さないのか私は不思議なの。お互いが勉強している言語で話した方が習得も早いのではないかしら。間違いを恐れて交流を避けるよりも、間違ってもいいから相手のことを知ろうと積極的に関係を持つことが大切だと思う。」

先生は、言語のテクニカルなスキルを身に着けることよりも人との関係を大切にすればおのずと言葉はしゃべれるようになるということを私に伝えたかったのだと感じた。この体験から、言語を学んで、言葉をはしゃげるようになることが大事なのではなく、覚えた言葉で相手と信頼関係を築くことが大切なことなのだと学んだ。

